

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

財形転貸融資をはじめとする住宅融資や企業内福利厚生サービスを通じ、勤労者の財産形成を支援し、社会に貢献すること

2 中長期の経営戦略

1. 営業強化

営業活動量の増大、営業能力の向上によるお客様数の増加と収益強化

3. 新規パートナー開拓

出資企業や業務提携先の開拓により、融資制度利用者の拡大

2. 情報発信力の強化

SNS・外部サービス・HP・動画サイトを活用したブランドイメージの強化

4. 顧客満足度向上

住宅資金セミナー・個別資金相談会を充実させ、ニーズに合った支援提供

3 対処すべき課題

① 市場環境への適応

- ・先行き不透明な経営環境に機敏に対応した事業展開
- ・財形住宅融資・財住金フラット35・フラット35エースの利用促進

② 事業基盤の拡大

- ・融資制度利用可能な新規出資企業・業務提携先の開発
- ・融資制度の優位性を広く伝える営業活動展開

面接で使えるポイント

- ・厚生労働大臣登録福利厚生会社として、財形転貸融資で勤労者の財産形成を支援する役割
- ・2024年度から始まる新中期3ヵ年経営計画で、SNS活用・セミナー開催など多面的な顧客接点構築に注力
- ・財住金フラット35やフラット35エースなど複数の融資商品を活用し、顧客ニーズに応じた多様な選択肢を提供

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
当社に出資していただいた企業の勤労者に対する財
形住宅資金の転貸融資を主たる業務と

主力事業・セグメント

・その他金融業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

13点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 22.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

